



# 足立六中 学校だより

## － 教 育 目 標 －

- ・自ら学び目標をもって努力しよう
- ・互いに尊重し助け合おう
- ・困難に耐え心と体を鍛えよう

## 大切なもの

校長 鵜飼康成

人は誰でも一つ以上は大切なものがあると思います。自分自身や自分以外のもの、形があるものやそうではないもの、広く大きな考えや信念、今あることや未来のことなど、人・物・時間・場所・空間・思想などにより無限にあるものだと思います。

7月下旬の通勤途中のことでしたが、私自身が目にとまった光景がありました。電車の座席に座っている若い女性が、iPadを片手に持ち、脇目も振らずディスプレイを見ながら作業に集中していました。あまりにも懸命に作業している様子には私は気になってしまい、失礼とは思いつつディスプレイを見てしまいました。すると、そこには目を見張るようなアニメのイラストが描かれていました。今にもディスプレイから飛び出てきそうなくらい、生き生きとしたものでした。さらに感心したのは、タッチペンで細かな線を書くときは、画面を拡大し、丁寧に一本一本書いては消し、書いては消しの作業を繰り返していました。そのイラストの繊細さや、機能を駆使している動きに、しばらく見入ってしまいました。おそらくその女性は、何かの目的でそのイラストの制作をしていたと思いますが、私にはその光景がイラストに命を宿すかのように見え、頭から離れなくなりました。日本のアニメは、その技術の高さや多様なストーリーがあるなど、世界中の様々な世代に多くのファンがいます。今夏も映画などが公開されるなど、今も昔も人気が高いようです。おそらくその女性は、その時間や作業は大切なものなのでしょう。



今夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。世界中に新型コロナウイルス感染症が広まり、東京でもその影響を受け、開催が1年間延長されました。感染状況は改善されず、開催には賛否両論ありましたが、競技選手のインタビューでは、開催または支援してくれた様々な人への感謝の気持ちが多く聞かれました。競技会場へ向かうバスを乗り間違えた選手の困っている様子を見て、タクシー代を渡したボランティアがいました。日本の地方で合宿を

していた海外選手たちが東京に向かうバスで出発するとき、両手をいつまでも振ってくれた日本のサポートスタッフがいました。難易度の高い技にチャレンジした選手が失敗したときには、その勇気を称え、他国の選手たちが温かく出迎えていました。

また、8月中旬には、西日本で長雨による土砂崩れや河川の氾濫や、カリブ海のハイチではマグニチュード7を上回る大地震が起これ、大きな被害が出ています。未だ終息の見えないコロナ禍の中、休むことなく医療に従事していただいている方がいます。他国では、戦争などにより十分な教育を受けられない子供たちもいます。

大切なものは人それぞれ違うと思いますが、皆が願う平和や安全、安心、安らぎは世界共通だと思います。9月からの本校の教育活動も、未来ある子供たちに、大切なことを感じ考え、自分や仲間とそれを創り出し、続けていく力を育てることを目標とし、進めていきます。

## 部活動 大会などの結果

- ・吹奏楽部 東京都中学校吹奏楽コンクール 銅賞
- ・演劇部 高校演劇サマーフェスティバル in 1010 足立区立中学校選抜隊 出演

## 職場体験学習

6月29日（火）から7月1日（木）まで、2年生が職場体験学習を実施しました。昨年度は中止となり今年度も実施が危ぶまれましたが、緊急事態宣言解除期間でもあり、本校または受け入れ先の事業所の感染症予防対策ガイドラインに基づき、予防対策を徹底しながら実施することができました。受け入れ先の方々、並びに保護者の皆様のご理解ご協力に感謝いたします。

生徒は、事前に事業所の担当者の方と、電話などで体験に向け打ち合わせを済ませ、本番に臨みました。緊張しながらも、接客や与えられた仕事に責任をもって取り組んだようです。事業所の方からお褒めの言葉をいただくと同時に、元気さや積極性をもつなどご指摘もありました。「職場体験」ではなく「職場貢献」という意識をもち、指示されたことに責任をもって仕事をするのは当然ですが、仕事の内容の意味や意義を理解し「貢献」とは何かを常に考え、行動していきたいものです。今回の経験を活かし、日々の行動につながることを期待します。



## オリパラ教育 ボッチャ体験学習

7月15日（金）に、千葉県ボッチャ協会 副会長 千葉 誠 様を講師としてお招きし、ボッチャを体験しました。ボッチャは、ヨーロッパで生まれ重度脳性麻痺者もしくは、同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。千葉様には、ボールの投げ方・ルール・ゲームの進め方・審判の仕方など教えていただきました。

最初は、投げ方を含め戸惑う場面もありましたが、競技に対する生徒たちの関心が強く、すぐに慣れて上手にボールを扱い、審判もスムーズに行うことができました。一投一投に一喜一憂し、チームの仲間に声援を送り、体育館内は、生徒が歓喜する姿に満ちあふれていました。今後も、様々な機会や体験を通じて、新しい発見や思いやりなどを学び、豊かな心を育み他人のため、自分のため積極的な行動できる力を育てていきます。



## セーフティ教室

7月20日（火）に、生活指導主任の西村主幹教諭が講師となり、セーフティ教室を開催しました。今年は、「SNS利用 六中ルール」を新しくしました。理由として、本校でも残念ながら、SNSに関わったトラブルが起きています。ルールを作る前に、生徒にアンケートを実施しました。以下がアンケート結果です。

何のアプリでSNSをしますか？	何の機器でSNSをしますか？	SNSの1日の利用時間は？
LINE 200人	自分のスマートフォン 208人	3時間以上 66人
TikTok 120人	保護者のスマートフォン 18人	2～3時間 55人
Instagram 82人	保護者のパソコン 13人	1～2時間 28人
Twitter 56人	自分のパソコン 10人	30分未満 36人
Facebook 6人		

SNSを使って良かったことは何ですか？	SNSを使って困ったことは何ですか？
友達と簡単に連絡がとれる 185人	勉強に集中できなくなった 86人
多くの情報を簡単に知ることができる 178人	自分の思いが相手に正しく伝わらなかった 39人
遠くにいる人とも連絡がとれる 145人	SNSが原因で友達とトラブルになった 27人
自分の意見や考えを発信できる 45人	

上記の結果、SNSは生活の一部に浸透しており、コミュニケーションの手段の一つになっています。利便性を感じている反面、使い方に苦慮している様子が結果として現れました。新しい「SNS利用 六中ルール」は、生徒たちで作ったことにより、アンケート結果が反映されたルールになりました。最近、様々なニュースがインターネットでも掲載されますが、投稿者からのコメントは、辛辣（しんらつ）なものも多々あります。本来は、便利なものですから、互いを傷つけるような使い方は控えてほしいです。また、依存性も高くなり手放せなくなってしまうと、心身にも影響が出てきてしまうこともありますので、使い方をコントロールしたいものです。保護者の皆様には、お子様の使い方について、今一度「SNS利用 六中ルール」を参考にさせていただき、必要と感じられれば、家庭でのルールを再確認してはいかがでしょうか。



大型モニターを利用し、実施しました。



### 「SNS利用 六中ルール」(新)

- 1 フィルタリングをかけて使おう
- 2 23時以降は利用しない
- 3 個人の特典できるものは載せない
- 4 文字で伝わらないことは直接会って話す
- 5 学習・食事・睡眠時はいじらない
- 6 課金については、保護者と相談する
- 7 相手の嫌がることをしない
- 8 利用時間と勉強時間を同じぐらいにする
- 9 いつでも保護者に見せられるようにする
- 10 他校や他地域との関わりに気を付ける



## 10月の予定

(翌月の予定を毎回お知らせしております。)

日	曜日	予 定
1	金	東京都民の日 足立区民の日
2	土	土曜授業 英語スピーキング調査 (3年)
3	日	修学旅行始 (3年) ※緊急事態宣言延長による延期もしくは中止もあります。
4	月	朝礼
5	火	修学旅行終 (3年)
6	水	振替休業日 (3年)
7	木	
8	金	前期終業式 英語検定
9	土	
10	日	
11	月	後期始業式 安全指導 学校公開週間 ※感染症予防対策のため公開なし
12	火	専門委員会
13	水	区小中研の日 (教職員対象)
14	木	中央委員会
15	金	進路説明会 14時30分～ 学校説明会 15時30分～ [小6保護者対象]
16	土	
17	日	漢字検定
18	月	生徒会朝礼 (認証式)
19	火	
20	水	職員会議
21	木	避難訓練
22	金	
23	土	文化祭 (会場: 西新井文化ホール)
24	日	
25	月	振替休業日
26	火	
27	水	小中連携の日 (第六中研究授業)
28	木	連合英語学芸会 → 中止
29	金	
30	土	
31	日	

※区陸上大会 (I組)、区連合陸上大会、区連合駅伝大会、区連合英語学芸会は、誠に残念ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。